

第 16 回 GSC Student Travel Grant Award 募集要項

公益社団法人新化学技術推進協会 グリーン・サステイナブル ケミストリー ネットワーク会議(JACI GSCN 会議)は、第 16 回 GSC Student Travel Grant Award の候補者を募集致します。

GSC Student Travel Grant Award は、GSC の分野で優れた研究を行っている日本の大学院生を表彰し、さらにその学生が「GSC 国際会議」または「GSC アジア・オセアニア会議」に参加して国際的経験の中で GSC への理解を深めるようにその参加費用の一部を副賞にて援助するものです。

今回の募集対象の会議は 2023 年に予定されている協会が指定する GSCI に関する国際会議です。

(ニュージーランドで開催予定の第 8 回 GSC アジア・オセアニア会議 8th Asia-Oceania Conference on Green and Sustainable Chemistry <https://www.greenchemistry.science.auckland.ac.nz/> 等)

奮ってご応募下さい。

1. 応募者の資格 (1)(2)必須です。

- (1) 2022 年 11 月 1 日時点で我が国の大学に所属する大学院生及びこれに相当する学生であり、GSC に関する国際会議(オンラインを含む)に参加して、下記の応募対象研究成果を発表する意思を有するもの。
- (2) 担当教員から推薦を受けたもの。

2. 応募の対象となる研究成果 (1)(2)必須です。

- (1) GSC の推進・普及への貢献が大きい研究成果:具体的には注 1を参照下さい。
- (2) JACI/GSC シンポジウムでのポスター発表実績
応募者が第 11 回(2022 年 6 月 15 日～6 月 16 日(オンライン))または第 12 回(2023 年 6 月 13 日～14 日)のシンポジウムにてポスター発表した、またはその予定の研究成果であること。

3. 受賞者の人数

5 名程度。

4. 表彰の内容等

- (1) 賞記をもって表彰し、副賞として 10 万円を限度として授与する。
- (2) 表彰式は 2023 年 4 月～7 月頃に、東京地区で開催予定。
- (3) 受賞者とその受賞内容に関しては、JACI のホームページやニュースレター等を通して公表する。
- (4) 受賞者は、対象国際会議に参加できなかった場合は副賞を返納するものとする。

5. 選考方法

選考委員会を設け、以下の観点から研究成果を評価する。

- (1) 研究としての質
- (2) GSC としての意義

6. 応募要領

- (1) 担当教員から推薦を受ける。
- (2) 応募者は以下の資料を提出する。言語は原則日本語とするが、英語で記入してもよい。
 - ① GSC Student Travel Grant Award(申請・推薦書(様式1))
(<https://www.jaci.or.jp/> STGA のバナーをクリック)
 - ② 研究の目的・意義
 - ③ 本研究が GSC の進展に資すると考える理由
※注 2: <GSC の事例>に記載の 16 項目のどれに最もよく該当するかを先ず述べてから論旨を展開する。
A4 で 1 枚、しっかりと自らの言葉で記載すること。
 - ④ 研究成果の内容(②、③、④合わせて、図を含め A4 用紙 4 枚以内)
 - ⑤ 今までの全ての論文、特許、学会発表のリスト
 - ⑥ 上記④の研究成果に関連する資料の pdf ファイル:論文、その他(特許の場合は公開以降のもの)。
応募者が著者として含まれる資料のみ可。

- (3) 提出方法:①～⑥の資料は電子情報を電子メールで送付してください。
 (4) 応募の締切り:2023年1月31日(火) 17時
 (5) 送付先:(公社)新化学技術推進協会 STGA 事務局宛 E-mail: 16gscstga@jaci.or.jp

注1:GSCの推進・普及への貢献が大きい研究成果とは

- 1) GSCの目指す化学技術[※]の確立と製品[※]の創出のための、注2<GSCの事例>の各分類に該当、または類する、化学技術関連分野における独創的なまたは長期的課題に対する先駆的な研究成果。
- ※ GSCの目指す化学技術と製品:化学製品の設計から原料の選択、製造過程、使用、リサイクル、廃棄まで、製品の全ライフサイクルを見通し、地球環境と生態系への負荷を小さくするとともに、安全・安心で豊かな持続可能社会を実現する化学技術と製品
- 2) 科学的基盤の分野における独創的な研究であって、上記1)の技術開発の飛躍的展開を促す、新規概念・手法の開拓あるいは新規現象の発見または解析・解明に関する成果

注2:<GSCの事例> https://www.jaci.or.jp/gscn/page_01.html

【低環境負荷生産に向けた資源消費最小化・反応プロセス高効率化】

- 1 副生成物の発生量を低減する化学を基盤とした技術および製品
- 2 CO₂等の温室効果ガスや汚染物質の発生を抑え、環境負荷を低減する分離・精製・リサイクル
- 3 CO₂等の温室効果ガスの発生量、環境への放出量を低減する化学を基盤とした技術および製品
- 4 省資源・省エネを実現する触媒および反応プロセス

【安全・安心な生活環境に資する化学物質リスク低減】

- 5 廃棄物の発生量を低減する化学を基盤とした技術、製品およびシステム
- 6 有害・汚染物質の発生と排出を抑止する化学を基盤とした技術、製品およびシステム

【エネルギー・資源・食糧・水問題の解決へ向けた取組み】

- 7 低品位の熱源や非在来型資源等を利活用するための化学を基盤とした技術、製品およびシステム
- 8 未利用エネルギー・資源を有効なエネルギーに転換して貯蔵・輸送する化学を基盤とした技術、製品およびシステム
- 9 枯渇資源(化石資源、希少資源)への依存度を低減する、または再生可能エネルギー・資源への転換・貯蔵を促進する化学を基盤とした技術、製品およびシステム
- 10 3R(リデュース・リユース・リサイクル)に貢献する化学を基盤とした技術、製品およびシステム
- 11 食糧の生産・供給過程の高効率化、水資源の有効活用に資する化学を基盤とした技術、製品およびシステム

【安全・安心・豊かで持続可能な社会実現のための長期的課題に対する先駆的取組み】

- 12 社会的課題の解決(エネルギー・資源、食糧・水、防災・インフラ整備、運輸・物流、医療・ヘルスケア、教育・福祉等)のための、ICT等を活用した新しい社会システムの導入に貢献する、化学を基盤とした技術、新製品、および新形態のサービス
- 13 環境への負荷を抑えつつ社会や人の快適性の向上に寄与する化学を基盤とした技術、新製品、および新形態のサービス

【GSCの体系化・普及啓発・教育およびGSCの評価方法の確立・普及】

- 14 GSCの体系化
- 15 GSCの普及啓発・教育
- 16 GSCに関する評価方法、ライフサイクルアセスメントの確立と普及

7. お問い合わせ先

(公社)新化学技術推進協会 グリーン・サステイナブル ケミストリー ネットワーク会議 STGA 事務局
 TEL:03-6272-6880 FAX:03-5211-5920 URL: <https://www.jaci.or.jp/>
 〒102-0075 東京都千代田区三番町2 三番町KSビル2F

<JACI GSCN 会議構成団体>

(国研)科学技術振興機構、(一財)化学研究評価機構、(公社)化学工業会、(一社)化学情報協会、関西化学工業協会、(一社)近畿化学協会、合成樹脂工業協会、
 (公社)高分子学会、(公社)高分子学会高分子同友会、(公財)相模中央化学研究所、(国研)産業技術総合研究所、(一社)触媒学会、
 (国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構、(独)製品評価技術基盤機構、石油化学工業協会、(公社)石油学会、(公財)地球環境産業技術研究機構、
 (公社)電気化学会、(地独)東京都立産業技術研究センター、(公社)日本化学会、(一社)日本化学工業協会、日本吸着学会、(公社)日本セラミックス協会、
 (一社)日本塗料工業会、日本バイオマテリアル学会、(一社)日本分析機器工業会、(一社)日本膜学会、(一財)バイオインダストリー協会、
 (国研)物質・材料研究機構、(一社)プラスチック循環利用協会、(公社)有機合成化学協会、(国研)理化学研究所